

ほぼ100%に近い確率で

ジンベエザメに会えると今話題沸騰中なのが、
フィリピンのセブ島南の町、オスロブ。

僕自身、今回のロケで7日間現地に赴き、
7回ともジンベエザメとの遭遇を果たした。

しかも、毎回複数個体！

今回は、空港のあるマクタン島のリゾートから
このジンベエザメに会いに行く様子を、徹底レポート。

さあ、あなたもセブ島で

ジンベエ三昧の旅を体験してみよう！

Photo&Text *Takaji Ochi*
Model *Eri Saito*
Design *Sana☆*
Special Thanks *Blue Coral*



セブ島で ジンベエ *Whale Sharks in Cebu* 三昧!の旅

催眠術にかけられた ジンベエザメたち？



Whale Sharks in Cebu



01/ 漁師たちが、小舟の上からジンベエたちに顔付けをしている

02/ まったく逃げないことも多いから、こんな写真まで簡単に撮影できる

03/ ジンベエザメとの自分撮りもオッケーだ



目の前でジンベエザメが立ち泳ぎしている。ほとんどその場から動かずに、大口を開けて、無心で何かをむさぼっている。

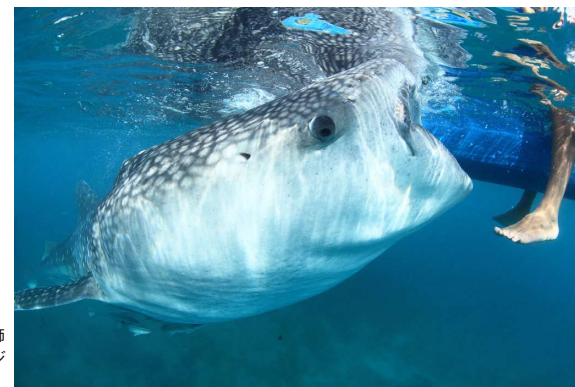
時折、近くを潜るダイバーやスノーケラーの何かの行動に反応して、「はっ! こんな事をしている場合じゃなかった」って感じで、急に我に返ったかのように、踵を返して泳ぎ去って行こうとする。その時、小型の手漕ぎアウトリガーカヌーに乗った地元漁師がまたジンベエの前に回り込み、口の中に何か小さな物を放り込み始める。すると、ジンベエザメは、また催眠術にでもかけられてしまったかのように、フラフラへと方向転換して、カヌーに誘導されるがままに、スノーケラーやダイバーの待つ場所へと戻って来るのだ。

僕は、その光景に呆気にとられた。と同時に、自分の意思を数秒も押し通せな

い、この巨大な魚のあまりのふがいなさには「お前らバカだな～」と親近感を感じずにはいられなかった。



これが、オスロブに住む(?) ジンベエザメを最初に目にした時の、奴らに対する僕の第一印象だった。



まるで犬のように漁師の船にまとわりつくジンベエザメ

セブ島でジンベエ三昧! の旅

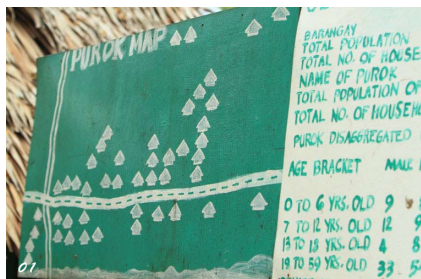
2012 Spring [Cebu Island]

ocean+α

©ocean+α ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
<http://www.bluecoral.jp/> 関連情報HPへ

Whale Sharks in Cebu



01/町の中にある地図。といっても、幹線道路一本と住居が示してあるだけの適当なもの

02/オスロブに到着。ジンベエの看板が目印だ。それにしても何も無いところ

03/途中には、こういった田園風景も見ることができる

04/スミロン島をバックに、ジンベエダイブを行なっているカヌーが見えてくる



いざ！ジンベエザメのいるオスロブへ！

早朝、マクタンから車に乗り込んで、セブ島を南下する事約3時間。海岸線を走る道路から沖に、スミロン島が姿を見せ、ジンベエザメがいるオスロブの町が近づいて来た事を知らせてくれる。



町の中（といっても、1本道の両側に家が建っているだけなのだけど）に入ると、ジンベエザメの看板が立ち並ぶ。林立するヤシの木々の間から、海岸線の先に目を向けると、いくつもの小型のアウトリガーカヌーが集まっているのが見えてくる。

「あそこにジンベエがいるはず！いや、いるに違いない！」そう確信しながらも、はやる気持ちを押えて、車は狭い路地を左に折れて、海岸の目の前にある駐車場へとゆっくりと進んでいく。

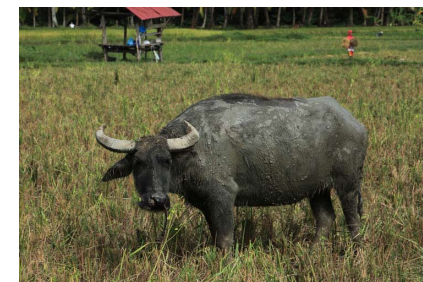
目の前のビーチには「BLUE CORAL」と船体の側面に書かれた白いバンカーボートが停泊していて、車を止めると、フィリピン人スタッフたちがテキパキと荷物を運び出し、船へと運び込む。すでに何回も同じ作業を行なってきたのだろう。



それよりも、気になるのは、あの小さなアウトリガーボートの集まっている所に、ジンベエザメはいるのかということだ。先に来ていたバンカーボートのフィリピン人スタッフに、「いるの？ねえ、いるの？」と何度も訪ねる。

フィリピン人スタッフは「当たり前だろう」というような顔で「いるよ、今日は4匹」と答えた。「おっしょー！」心の中でそう叫び、僕はフィリピン人スタッフに満面の笑みを見せ、早速ジンベエダイブの準備に取りかかった。

田んぼを耕すために使われる、水牛の姿が目についた



トラックの荷台に鈴なりになって捕まって移動する人々にちょっとびっくり

セブ島でジンベエ三昧！の旅

2012 Spring [Cebu Island]



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
<http://www.bluecoral.jp/>

関連情報HPへ

Whale Sharks in Cebu

バンカーボートに荷物とゲスト全員が乗り込むと、船は広範囲に貼られたロープに設置されたブイの一個を拾い、モーリング。大型のバンカーボートはこのロープの内側に入ってはいけないルールになっている。しかし、ただロープが張ってあるだけで、網などが設置されているわけではないので、このロープの中にあるジンベエザメは自分の意思でエリアから出たり入ったりできるわけだ。

じゃあ、なんでそんな野生のジンベエザメがここに集まっているのか、というと地元の漁師たちが、野生のジンベエザメの餌付けに成功したから。「え？野生のジンベエザメに餌付け？」とちょっと驚くに違い無い。「サメの餌付け」は結構世界各地で行なわれていてなんとなくイメージできるけど、「ジンベエザメの餌付け」となると、どんな風になるのか、僕もはじめは皆目想像がつかなかった。



「餌付け」に対して悪いイメージを持っているダイバーも多いかもしれない。どんなものをあげているのかと言うと、オスロブの漁師たちが、近くの漁師から買い付けたオキアミなのだそう。まあ、天然ものと言えば天然もの。



僕が一番気になったのは、どうやってこんなに長い期間手なずけているのかということだった。最初に餌付けに成功し

たのは、2011年の9月頃と聞いている。自分がここに取材に訪れたのは、2012年2月と3月。それまでの期間、悪天候で海に入れなかった日以外でジンベエザメに会えなかった日はほとんど無いのだそう。自分自身、7回訪れて平均で3匹、最高で6匹と、必ず複数個体のジンベエザメに遭遇した。



何故、こんなに高確率でジンベエザメに会えるのか!?

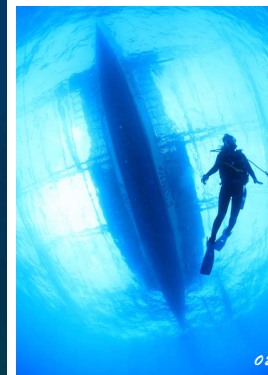


01/こんな風に、ジンベエたちが交錯することもざらにある

02/BUE CORALのバンカーボートからエントリーしてジンベエザメたちに会いに行く

03/ テールのシルエットがかっこいい

04/ 立ち泳ぎして、餌をねだるジンベエザメとカヌーのシルエット



常に複数個体がこの海域に留まっていた、それは今でも継続している。僕とBUE CORALのヒロさんが「田中君」と勝手に名付けたジンベエザメは7回中6回は確認できた。違う個体が回遊しているって言うてる人もいたけど、どうもはっきりしたことはしっかり調査しないとわからないようだ。同じ個体にせよ、違う個体にせよ、いくら餌付けしているからと言って、この遭遇率の高さには、正直驚かされた。



セブ島でジンベエ三昧!の旅

2012 Spring [Cebu Island]



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.bluecoral.jp/>

関連情報HPへ



ジンベエザメに会えるまで

Whale Sharks in Cebu

さて、ここでは、ジンベエザメに会えるまでの行程を時系列に紹介していこう。

早朝、5時とか6時。まだ暗いうちにBLUE CORALのスタッフがホテルまで迎えに来てくれて、バンに乗って出発。座席はなるべく一人で横になれるような人数で利用させてくれるから3時間の車での移動中は、爆睡できる。

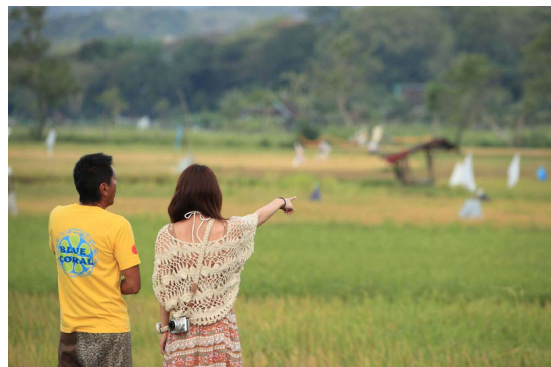
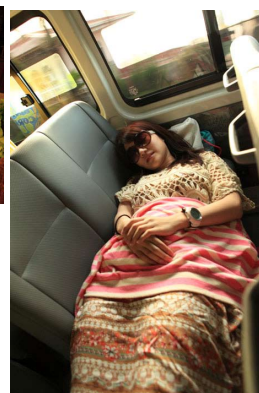
丁度中間地点くらいにあるガソリンスタンドでトイレ休憩。明るくなった周囲は、田んぼに覆われた田園風景が広がっていて、爽やかな気分。

時折町を通過しながら、ほとんど緑のジャングルに覆われた舗装道路をひた走る。目が覚めたらスタッフと会話したりして車内での時間を過ごす。

オスロブに到着！ジンベエダイブの入り口には、ジンベエザメの看板だらけ！

ここでBLUE CORALのポートに乗船して、海側からジンベエザメにアプローチ。すでに餌をやる漁師の船や、観光客を乗せたアウトリガーが海の上に集まっている。こんなに海岸から近い場所で会えるんだよ！

ほら！ほら！ジンベエザメが見えて来た！！さっそくタンクを付けてエントリー。そして、ジンベエザメとの感動的遭遇！！もう初めての体験に皆大興奮！



セブ島でジンベエ三昧！の旅

2012 Spring [Cebu Island]



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
http://www.bluecoral.jp/

関連情報HPへ



スミロン島のビーチに船を横付けして上陸

セブ島でジンベエ三昧!の旅

2012 Spring [Cebu Island]



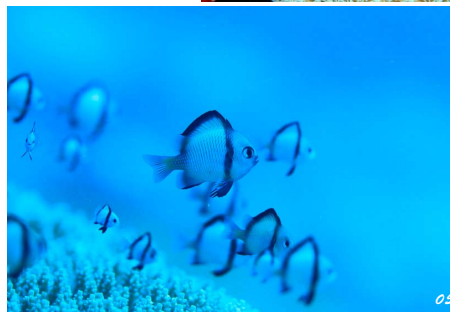
©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.bluecoral.jp/>

関連情報HPへ

アフタージンベエダイブは？



- 01/ スミロン島の浅いリーフに群生するサンゴは必見
- 02/ セブ周辺でしか見たことが無い、スプリングダムセル。濃い青に黒のツートンカラーが素敵
- 03/ カラフルな海中景観
- 04/ 突然ツムブリの群れに巻かれた
- 06/ かわいい小魚たちにも癒される
- 06/ リーフのエッジを下から見上げる



- 07/ ランチ後、白砂のビーチで遊ぶ
- 08/ サンゴのかけらが沢山落ちている。かわいいサンゴのかけらを集めてみよう
- 09/ マンゴー沢山！ランチタイムはスタッフやゲストとの楽しい一時
- 10/ 開放的な雰囲気、思わず飛んで記念撮影したくなる

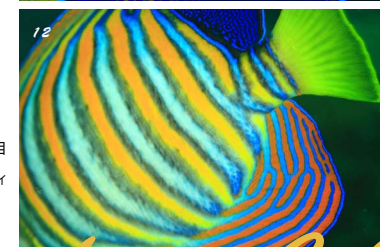
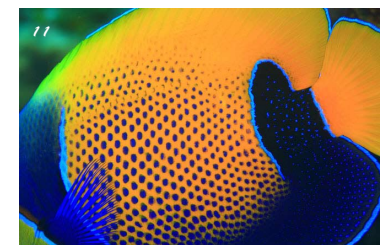
アフタージンベエダイブは、白砂のビーチが美しいスミロン島でダイビング＆ランチ。

スミロン島はオスロブの対岸に見える、リゾートが一件あるだけの小さな島。もともとは、このリゾートのゲストにジンベエザメを見せるために、餌付けが行なわれたといわれている。



ダイビングは、浅瀬の白砂の海底に点状のサンゴやその上に群れるメラネシアンアンティアス、パープルビューティーといった、ハナダイ系の魚たちの乱舞と元気なサンゴが楽しめる。

南の島の美しい白砂のビーチは、心を開放的にしてくれる。ジンベエダイブが終わる時間によっては、ダイビングをした後に船の先端をビーチに乗り上げて、船上でのランチとアフターダイブでのビーチを楽しむ。ビーチや海、それにBLUE CORALのバンカーボートをバックに記念撮影。



- 11/ イナズマヤッコの身体の色に注目
- 12/ こちらはニシキヤッコのボディ

Whale Sharks in Cebu

セブ島でジンベエ三昧！の旅

2012 Spring [Cebu Island]



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://www.bluecoral.jp/

関連情報HPへ



01/ 傘になるくらい巨大なタロイモの葉っぱに感動

02/ ヒロさんが実際に傘みたいに持ってみた。何か普通に似合ってる？



03/ 米を脱穀する農夫たちにご挨拶

04/ ヤギを見つけて大喜び

05/ 何と水牛にまで急接近。気をつけてね



帰路もセブ島を満喫しちゃえるかも

帰路は午後2時とか3時とか、明るいうちに車に乗り込んで出発する。特に時間が指定されているわけではないから、多少のんびりと余裕を持って帰れるわけだ。

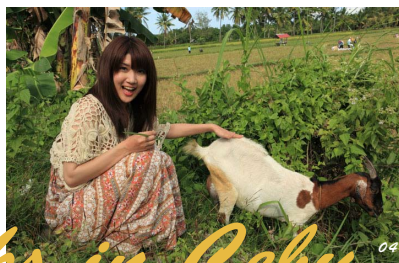
もちろん、一気にマクタンに戻ってホテルで休むのもいいし、ショッピングモールに行ってもらうのもいいかもしれない。

しかし、今回はモデルの絵理ちゃんのための願いで、途中、途中で車を停めてもらって、田園風景の中で水牛と一緒に撮影したり、田舎町の市場を見学して、売ってる魚や鶏と記念撮影したり……。



今までのモデルの子の中でも、特に地元の生活に触れる事が好きな絵理ちゃん、「ショッピングモールは日本でも行けるから、ローカルマーケットに連れてって下さい！」とヒロさんにリクエスト。セブシティ内でも、人気のSMやアヤラショッピングモールではなく、ローカルのカルボンマーケットへ。通常はBLUE CORALでこのマーケットへ行く機会は少ないようだけど、もし行きたい人は、早めにリクエストしてみては？

もちろん、普通にショッピングを楽しみたい人は、SMやアヤラショッピングモールへのリクエストもオッケーだ。



06/ 花の綺麗な木陰でちょっと休憩

07/ スペイン統治時代風の古い教会も見られる

08/ 赤ちゃんとも記念撮影

09/ 地元の女性たちの憩いの場にちょっとお邪魔してみました

10/ 市場では、フィッシュマーケットのおじさんが愛想良く魚を見せてくれた



11/ 途中にある町、ボルホーン市場を見学

12/ ダツが売ってる〜!と大喜びの絵理ちゃん

13/ 鶏と記念撮影も嬉しそう



Whale Sharks in Cebu

セブ島でジンベエ三昧! の旅

2012 Spring [Cebu Island]

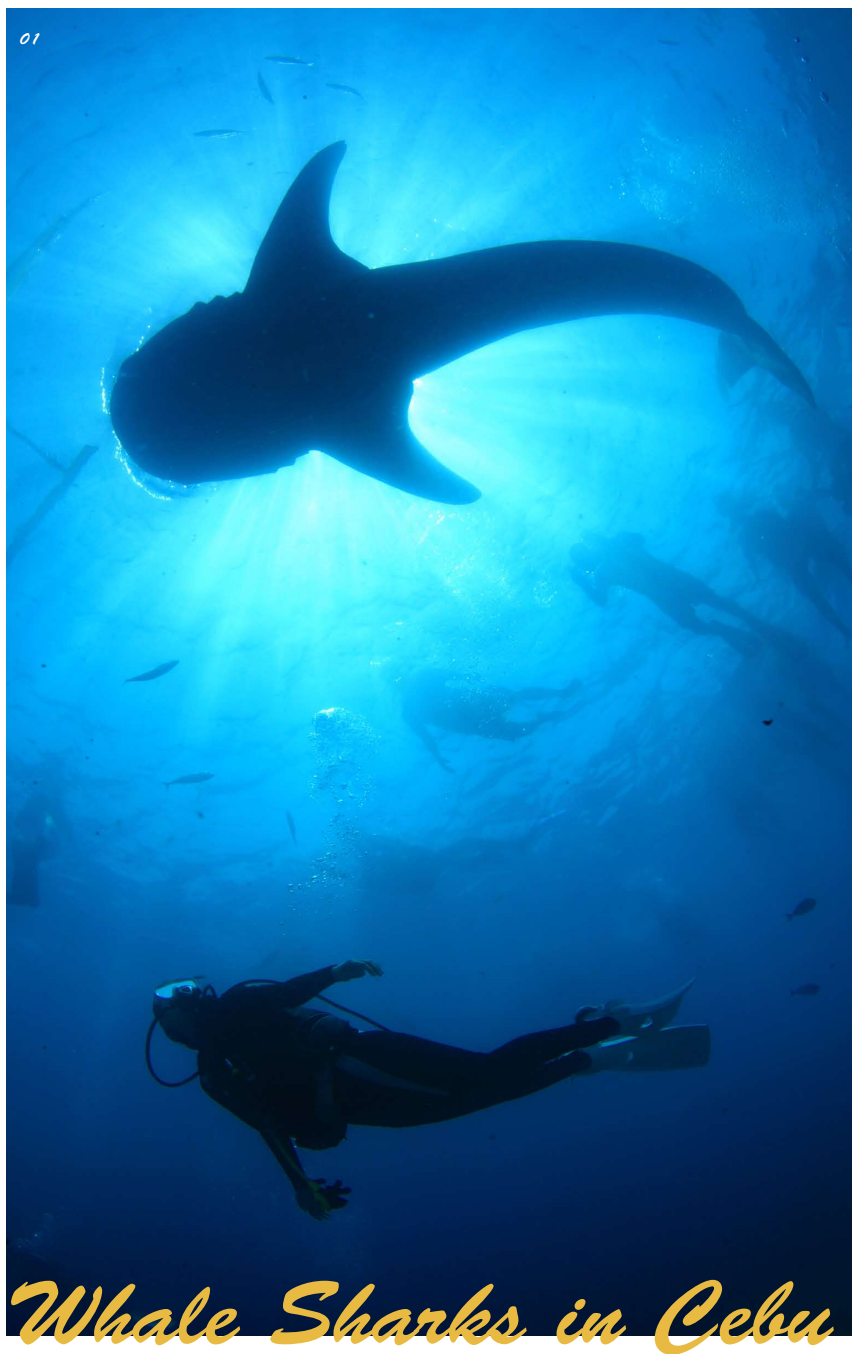


©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://www.bluecoral.jp/

関連情報HPへ



BLUE CORAL

今回のオスロブ、ジンベエへの旅の案内役をつとめてくれたのが、マクタン島のホワイトサンズリゾート内にあるBLUE CORAL。マクタン本店の他、ボホール、ドゥマゲティに支店を持ち、バンカーボート6隻を駆使して、セブ島周辺のダイビングサイトを網羅。オスロブのジンベエに関しても、近くの町、ボルホーンに宿泊施設のあるブランチを置いて、そこを起点にジンベエとその近隣の海を潜れる態勢を、他のダイビングサービスに先駆けて整えたという。常にダイバーの多様なニーズ

に応えてくれる頼もしいダイビングショップだ。現在、女性スタッフ大募集中！



ジンベエダイブには時間制限があり、1ダイブで50～60分まで。通常は午前中で餌付け終了なので、潜れるのも12時位まで。それぞれのダイビングサービスに割り当てられた時間帯があって、その時間帯で優先して潜りに行くことができる。他の時間帯でも、優先順位が先のダイビングサービスが潜らなければ、潜る事も可能だ。

このPDFマガジンをコピーしてBLUE CORALに潜りに行った人には、ocean+αオープン記念として、先着5名様にBLUE CORAL オリジナルTシャツをプレゼントさせて頂きます。



01/さあ、BLUE CORALでジンベエダイブを楽しもう！
02/BUE CORALのバンカーボートは快適
03/BUE CORALのスタッフたち
04/シブイ！オーナーガイドのヒロさんとの記念撮影はこれくらいしないと



05/こんな海中景観が待っている
06/田園風景も素敵
07/地元の人たちとも交流も楽しみの一つ
08/今回はローカルマーケット見学させてもらいました！



セブ島でジンベエ三昧！の旅

2012 Spring [Cebu Island]



©ocean+α ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.bluecoral.jp/>

関連情報HPへ